

第 62 回東北地区認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ 参加者募集について

(一社) 宮城県薬剤師会 会長 山田 卓郎

時下 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当会では、9月に開催される第62回東北地区認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ（以下WS）の参加者を下記の通り募集いたします。

WS参加枠は限られておりますので、令和2年度以降、6年制薬学生の2.5ヶ月の実習を受け入れることが可能な薬局に所属し、実習生の受入について開設者の了解を得た上でお申込み下さい。

また、募集が多数の場合は参加の可否を実務実習体制整備委員会で検討して決定し、ご連絡いたします。可否の結果についてのお問い合わせにはお答えできかねますので、ご了解の上お申し込みくださいますようお願いいたします。

記

開催日：令和元年9月15日（日）～16日（月・祝）

場 所：宮城県薬剤師会館

募集人数：15名（宮城県内薬局薬剤師）

参加費：40,000円（予定）（参加者負担）

参加資格：認定実務実習指導薬剤師の要件を満たすこと。

締め切り：令和元年7月19日（金）

※ 参加申込書の認定実務実習指導薬剤師要件について、必ずチェックをし、ご署名の上、必要事項を記入してFAXにて宮城県薬剤師会事務局（FAX：022-391-6640）までお申込みください。

以上

第62回東北地区認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ (薬学教育者ワークショップ)参加申込書(宮城県内薬局薬剤師用)

認定実務実習指導薬剤師になるには、基本的素養(1)を有し、また実務経験及び勤務状況等について所定の要件(2)を満たすことが求められています。

下記要件を満たしていることをご確認のうえ、チェックしてください。

(1)基本的素養

認定実務実習指導薬剤師は次の素養を有する者とする。

- 十分な実務経験を有し薬剤師としての本来の業務を日常的に行っている。
- 薬剤師を志す学生に対する実習指導に情熱を持っている。
- 常日頃から職能の向上に努めている。
- 実習の成果について適正な評価ができる。
- 認定取得後も継続的かつ日常的に薬剤師実務に従事する見込みがある。
- 実務実習生の受け入れ期間中、恒常的に指導することができる。

(2)応募要件

認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ(薬学教育者ワークショップ)に参加するにあたり、アおよびイの要件を満たしていなければならない。

ア 実務経験

薬剤師実務経験^{※1}(病院又は薬局におけるもので、勤務時間数が1週間当たり3日以上かつ20時間以上の場合に限る。以下同じ。)が5年以上ある。

または、

6年制の薬学教育を受け、薬剤師実務経験^{※1}が3年以上あるので、事前に受講したい。

※1 大学院在学中のアルバイト等は含みません。

また、「薬剤師名簿登録日」又は「入社日」のうちのいずれか遅い日からとします。

イ 勤務状況

病院または薬局における薬剤師実務経験が受講申込みの時点において継続して3年以上である。

現在病院または薬局に勤務(勤務時間数が1週間当たり3日以上かつ20時間以上の場合に限る。)している。

(3)以下の項目に該当することが望ましい。

ウ 応募する薬剤師は以下のような施設に所属していることが望ましい。

(薬局) 薬学実務実習に関するガイドラインが求める地域保健、医療、福祉等に関する業務を積極的に行っている。

「健康サポート薬局」の基準と同等の体制を有している。

薬学教育モデル・コアカリキュラム(平成25年度改訂版)に示された「代表的な疾患(がん、高血圧症、糖尿病、心疾患、脳血管障害、精神神経疾患、免疫・アレルギー疾患及び感染症をいう)」に関する症例を実習できる体制を整備している。

薬剤師賠償責任保険に加入している。

エ 生涯学習システムに参加又は認定を取得していることが望ましい。

参加又は認定を取得している。(名称:

令和 年 月 日

(署名) _____

カタカナ		宮城県薬剤師会	年齢	性別	実務経験年数
氏名		会員・非会員	歳	男・女	年
勤務先	施設名				
	連絡先	住所			
電話		FAX			
受入意思	<input type="checkbox"/> 必ず受け入れる <input type="checkbox"/> 現段階での受け入れは困難であるが将来的に受け入れを考えている				
認定実務実習指導薬剤師養成講習会 受講状況について		受講済み ・ 未受講			